



静岡県地方版
第361号
2022-1-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

歴史の転換点に立つ

県本部会長 江川 佐一

新年おめでとうございます。

昨年十一月、第三十八回県本部大会を開き、「再び戦争をさせない」という決意を固めました。

日頃、私たち県本部に対し、多くの団体、個人のみならず、さまざまなお力添えをいただき深く感謝申し上げます。



今年日本共産党

創立一〇〇周年、沖縄復帰五〇周年という記念すべき年であります。心から祝福申し上げます。

こうした輝かしい

時代に、治安維持法反対で戦前たたかった多くの犠牲者の意思を受け継ぎ、今日を生きることが、まことに光栄であります。

昨年十二月、「不屈」全国版に「夕日うけススキ群生わさわさと揺れ微笑む赤嶺勝利」という沖縄の塩田伸子さんの短歌が掲載されておりました。日本共産党の赤嶺政賢さんは、昨年の総選挙で沖縄県一区の小選挙区から当選されました。市民と野党の共闘の成果であったればこそと思うわけです。

今年、わが同盟の全国大会が開かれます。それに呼応し、県本部では中部支部が分割して志太榛原支部と中東遠支部が発足し、県全体で八支部となったことは画期的なできごとでした。かかる時代にふさわしく歴史の転換点に確信と誇りを持って、開拓者精神で立ち向かって前進していかうではありませんか。健康にはくれぐれも留意しつつ。

(えがわ さいち)

第二回県本部理事会を開催

新年最初となる県本部理事会が1月11日、静岡労政会館において理事11人の参加のもとに開催されました。

最初に江川会長が開会あいさつ。「コロナ禍の下、県本部としてももつと活発な討論と具体的な実践に踏み出し、岸田内閣がたくらむ9条改憲を許さない活動に全力を尽そう」と呼びかけました。

続いて山田副会長が情勢報告、早崎事務局長が活動のまとめと当面の課題について報告しました。

情勢報告では、最初に10年連続で軍事費増を図り、過去最大の107兆円越えの一方で、コロナ対策は予備費5兆円のみといった22年度予算案閣議決定の問題点にふれました。社会保障費を圧縮しながら新自由主義の3大悪政―労働法制の規制緩和と人減らし、社会保障の切り捨て、消費税増税と富裕層・大企業の減税―の継続・強化を進めています。

次いで岸田内閣が強めている「敵基地攻撃能力の保有」合憲化が、「立憲主義破壊」の第2幕になることを指摘。岸田首相は、歴代政権が「憲法違反」としてきた同「能力の保有」をめぐり、臨時国会の所信表明で「検討」を表明。憲法9条2項では「戦力不保持」を明記しています。憲法をめぐっては「草の根対決」が強まっております。「9条改憲NO!全国市民アクション」と総がかり行動実行委員会が提起している「憲法改悪を許さない全国署名」の取り組みを強めていくことが求められています。

これらの闘いの当面焦点になるのが1月23日に実施される名護市長選です。沖縄では「選挙イヤー」といわれるほど一連の選挙が続き、このような中で全国的なたたかひとなる7月の参院選がとりくまれます。「野党共闘」の力を強め、草の根からの反転攻勢に転じることの必要性が強調されました。

劇映画「わが青春つきるともー」の上映運動も力に同盟の拡大強化をはかろう

今後の活動では、5月の国会請願行動に向けての請願署名の推進、6月の全国大会に向けて500人会員実現への活動をすべての支部のとりくみにすることが必要です。この力に伊藤千代子の生涯に光を当てた映画のとりくみがあります。先の県本部大会で原作者の藤田廣登氏も記念講演で訴え（写真）しました。第一次全国上映運動が4月15日にスタートします。



私と国賠同盟

沼駿支部 岡本 和枝

国賠同盟女性部主催の第15回全国女性交流集会（於・熱海）に参加したのは、2004年11月のこと。17年前です。報告集の中に「各都道府県の女性部はいま」というコーナーがあり、沖縄と北海道のそれぞれ特徴的な女性部活動が報告されています。山梨県の報告は、戦前の1942年「治安維持法で逮捕され市役所を解雇」された石川さだのさん（89歳）の「名誉回復」の闘いの支援でした。国連人権委員会への訴え、甲府市長への訴え、日弁連への「人権救済申し立て」をされていることに、国賠同盟の神髄を見た思いました。加えてこの年の9月には、9人の著名人による「9条の会」がスタートし、えん罪御殿場少年事件の裁判の渦中であり、国賠同盟の活動を大きく認識した年でした。2004年の報告集の表紙は「憲法9条は平和の証」（チユリップの絵手紙）でした。

いま総選挙後の改憲問題に対して、これまで以上の草の根からの運動を作っていきたいと思っています。

（裾野市・おか かずえ）

4月23日にプラザおおるりで上映計画

志太榛原支部では、島田市を中心に実行委員会をつくり対策をはかっています。4月23日に島田市のプラザおおるり大会議室を使って、午後、夜の2回上映することを計画、準備をすすめています。

中東遠支部で会員拡大の連続前進

昨年11月に発足した中東遠支部は、結成月から毎月前進をと、会員拡大を進めています。山田俊廣支部長は討論の中で、会員拡大とともに国会請願署名で会員あての呼びかけ文もつくり、一人が5、10筆集めれば目標は達成できると、署名用紙も届けながらとりくみを広げていることを発言しました。

沼駿支部が第3回支部大会

12月19日、16人の参加で支部大会を開催。支部長に加藤宏司、事務局長に勝呂伸子を再任するなど役員体制も確立して、コロナで中断していた活動を再開しました。

訃報

◇清水支部・見機 明さん、12月20日死去、89歳
元清水平和委員会会長。
ご冥福をお祈り致します。

会員拡大と国会請願署名到達

2022・1・11現在

支部名	会員拡大					国会請願署名							
	目標	11月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	11月到達	増分	現在到達	個人目標	11月到達	増分	現在到達
伊豆	27	22		22	6	50	5		5	350	20		20
沼駿	60	52	+1	53	12	60	0	+7	7	800	0	+45	45
岳南	25	20		20	6	40	2	+1	3	350	0	+29	29
清水	45	36	-2	34	10	60	12		12	1,100	73		73
静岡	45	36		36	2	80	3		3	500	15	+10	25
志太椋原	130	121		121	34	50	6	+3	9	400	73	+15	88
中東遠	95	88	+1	89	12	50	3		3	400	50		50
西部	73	65		65	2	80	2	+1	3	750	40	+17	57
県本部	-	-		-		30	1	+12	13	350	0		0
合計	500	440	+2-2	440	84	500	34	+24	58	5,000	271	+116	387

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

梅が枝に 葉隠れし 富士はそびえ立ち
真紅の花芽は 全枝に芽吹く

曙(あ)け初めの 空ひたすら 祈るのは
皆の笑める日 ただそれだけを

巢立つ日に 早逝の師より 贈られし
珠玉の言葉と 卒寿を超えり

「ていねいに まいにち 三つ新聞を
すみからすみまで お読みなさい」と

(珠玉の言葉)

静岡 松浦美智世

編集後記

▼「敵基地攻撃能力」の保有検討を堂々と表明し始めた岸田政権。維新の会の後押しも受け、改憲への前のめりとともに「聞く力」が、政権維持の思惑とも相まって国民を戦争への惨禍に引きこみかねない危険な道に突き進もうとしています。

▼沖縄名護市長選をはじめ、7月の参院選にむけた「草の根」の闘いが重要になります。「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」のスローガンのもと力を合わせましょう。 S・H

